

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	温熱感小委員会		主 査 名：都築 和代 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (熱環境運営委員会)		委員長名：田辺 新一 主 査 名：須永 修通
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの温熱感研究を踏まえ、本領域の今後の発展と展望の模索 ・最新研究のレビュー、シンポジウムの企画・開催と適切な情報発信 ・学術規準の作成と刊行 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：都築和代 (産業技術総合研究所) 幹事：高田暁 (神戸大学)、山岸明浩 (信州大学) 委員：斎藤輝幸 (名古屋大学)、梶井宏修 (近畿大学) 久野 覚 (名古屋大学)、 松原齋樹 (京都府立大学)、土川忠浩 (兵庫県立大学) 横山真太郎 (北海道大学)、宮本征一 (摂南大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	現状分析情報発信 WG (温熱感に関連する資料を収集・分析し、最近の研究動向を把握するための研究会開催に向けた検討を行う) 温熱適快適域検討 WG (温熱的快適域に関する論文や標準などの基礎資料を整理し、取りまとめ、シンポジウムや研究会を開催する) 温熱環境学術規準 WG (温熱環境学術規準、生理・心理測定法の作成) など		
2014 年度予算	175,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料 等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業 委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と 得られた成果との関 係)	これまでの温熱感研究を踏まえ、本領域の今後の発展と展望の模索を各 WG で実施した。シンポジウムの企画・開催と情報発信までに至らず、今後の課題とした。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 特になし 2. 3.

2014 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A B C D
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>計画のうち、これまでの温熱感研究を踏まえ、本領域の今後の発展と展望の模索を各WGで実施した。シンポジウムの企画・開催と情報発信までに至らず、今後の課題としたい。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。